

中古機が出てきました。

残念ですが、昔の良いお客様が、此処の処亡くなり。良い状態のコレクションが出て参ります。若いお客様には、女子供、ビトン



やバーキンの価値は、判ってもこのモデルの良さは解らないし。まして、市場が縮小している日本(型)ならば、メーカーとして新たな機種を出す事も無いし、ネットオークションで出展された場合は、価値が解らぬ、女子供を言い含めて、特に日本型ならば二束三文で、安く買い叩いて、コレクションを増やしましょう！と若い新規顧客の方には勧めています。が、このモデルは、状態も良く、超レアなので、メーカーとして動作保証を付ける。オーバーホールで、出そうか？とも考えています。勿論、市場規模が、日本とは比べものには成らない外国型。特に、パークシャーと、ガラットは、米国型とイギリス(豪州)型、しかも超レアな機種ばかりなので、これは、此れなりにオーバーホールしてメーカの動作保証を付ければ、円安の今購入時とさして代わらぬ価格で売れるでしょう。パバリア仕様のグラカスとバツタ(グラスホッパー)も、コレクターアイテムです。(但し運転技術は必要ですよ！)

只、オーバーホールするとなると、専任で、この作業に関らなければならず、その時間が捻出できるか？が問題なだけです。お問い合わせは受け付けていますが、私も未だ、実際に実物を見ていません(この写真だけです)ので、何とも言えませんが、所有者は元 YLSC 会員で、運転も為さっていましたし、お医者様でしたので、状態は、悪くはないと信じております。曰く C62 は故鈴木会長が、御主人に代わり、弄り倒していたので、安く提供しても構わないとおっしゃっていました。

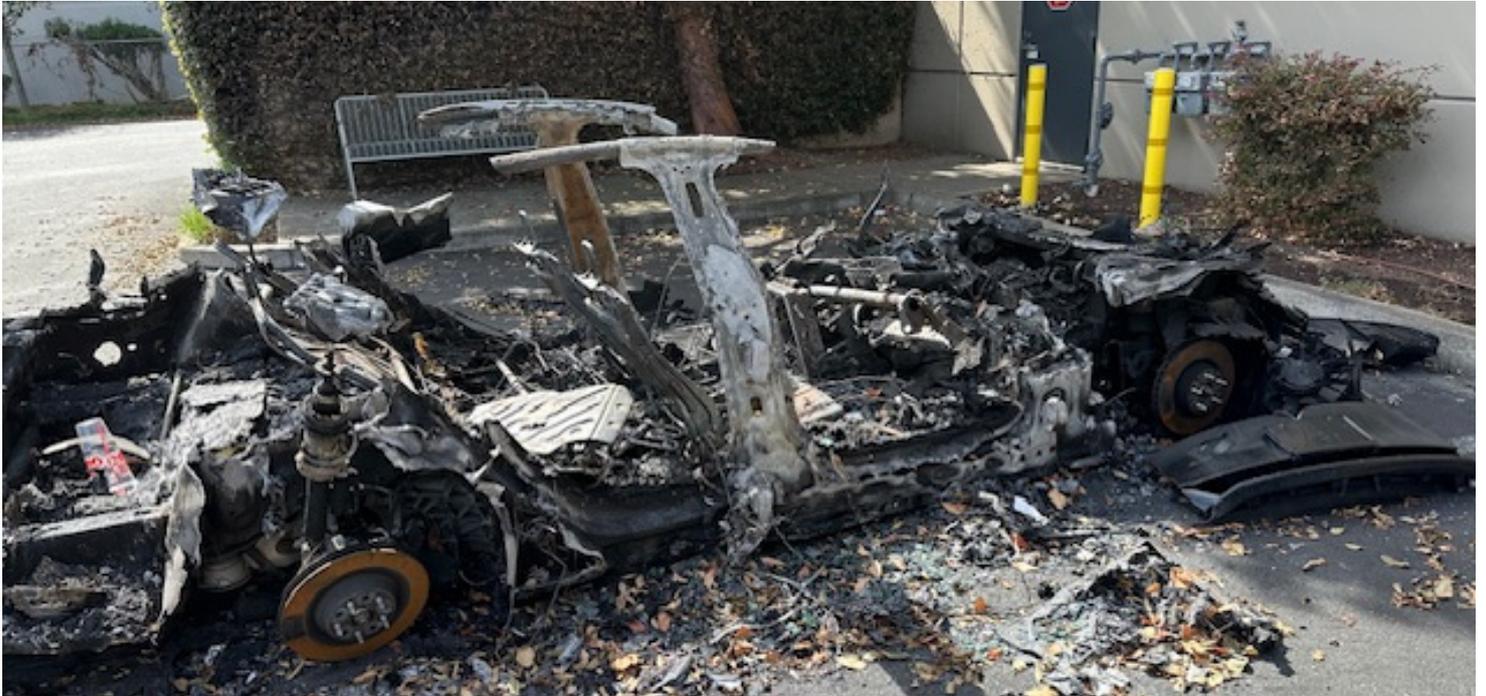
と言う訳で (乗用は、電気が主流の様ですね)

GP40も日本で車体制作していますが、本来この種の機関車はディーゼルエレクトリックです。そして5インチや7半インチならばその駆動装置を入れる空間は十分在ります。1番でも和田ワークスが OS のエンジンとモータで EMD の GP9 を再現しました。しかし、そうすると、価格は1番ですら64万近かったのですから、乗用の5とか7インチ半だったら幾らになるのでしょうか？ですから、今や欧米のライドオン(乗用)マーケットで普及機は、電動です。但し日本でボディ制作を携わるので、『造り』はしっかりしています。アキュラフトブランドの商品は、価格は、それなりにリーズナブルにしますので、動力装置は拘らないで下さい



イヤア、とは言え円安です！何故トランプさんが大統領になったのでしょうか？

自称ポピュリストではないと言い張っていますが、国債を発行し自国通貨量を増やせば、幾らユーロ圏とは異なり自国通貨発行権がある日本円と言えども、円自身の価値は加速度を増して下がります。故に、輸入品は高くなります。飼料や肥料を含めると、食料の7割を輸入に頼っている日本の場合、食料品価格の高騰は、一般庶民の懐を直撃する事になります。勿論所得補助をしても、円安になるので、燃料価格も上がるので、この一見庶民目線の政策(社会主義的ポピュリズム)による利益は相殺されるでしょう。環境保全の為。電動に全て換えれば、と短絡に考える方もいますが、電機は今7割が火力、残りを原発と再生可能エネルギーで賄っています。しかも日本だけがアジアで唯一に産業革命を達成できた国。電子(制御)にばかり走り、機械産業を冷遇すれば、その特徴や、積み上げて来た遺産も容易く失う事にも繋がります。かと言って安易にエネルギーを得るには、あの恐ろしい原発を増やすしかないのも実情です。はてさて、最適解は何処に有るのでしょうか？各々の既得権益をお上(行政)の庇護の下、守らせるだけでは、変革やイノベーションは生まれないと思うのですが？ちなみにアキクラフトの有る、米国のオフィスではこの残骸が放置してありました、曰く燃えた電気自動車(但し中国製ではない)だそうです。電動、いや電池は、雨で濡れると燃えると、言われ報道もされていましたが、このドピカン乾燥したカリフォルニア州の駐車場で、自然発火し、燃え尽きたという事実は、電動車(バッテリーだけで動く車)の怖さを改めて戒める姿でした。遺構を隠し、一般人の眼に付かなくする日本人のマスの考え方とは大きく違うなあと感じましたあ！ちなみに、テスラ(米国)とHundai(韓国)の電気自動車は、見ましたが、あの権威主義で、独裁が蔓延る「自由の無い」体制の下、生まれたBYDの車は、此の自由の国では、流石に全く見ませんでした、無人運転の実証実験 TAXI は、街中で普通に見かけました(でもどうやって乗るのだろう？)



P2 越年決定です、済みません<m(_)_m>

私共の実力不足もあって、結局現時点で、未だ P2 のバルブギヤに関する結論が完璧に出ていません。世界中のお客様が待っているのは十二分に理解しております。世界中からも、どうなって居るのだ！と矢のような資料請求や説明が求められています。ただ動輪(主動輪＝第2動輪)のクランク部品と組み立て治具は、来ました。しかし、再び、新たなる不具合が発覚しています。故に、最終設計の試験が未だ実施できていないと云うのが現状です。

Accuraft も打ち出の小槌を持っている訳では無いので、この P2 がリリースできなければ、新規機種弁慶や BR80 においそれとは、進めません。ご理解頂いた上で ASTERHOBBY の P2 の完成を今、暫くお待ち下さい。誠に申し訳ございません。

